

香港への弾圧の中止を求める意見書

香港では200万人規模で政府への抗議行動を行っており、それに対する香港警察による弾圧が強まっている。2019年11月11日には警官が至近距離からデモ参加者に実弾発砲し、一人の若者が腹部を撃たれて重体となった。丸腰のデモ参加者への実弾発砲は、言語道断の暴挙である。

また、大学構内への警察による突入で、多数の負傷者と逮捕者が出た。香港警察とデモ参加者との衝突のなかで、デモ参加者から犠牲者が出ており、その真相解明を求める声が大きくなっている。デモ参加者が暴力を自制し、平和的方法で意見を表明することは重要であるが、殺傷性の高い銃器を使用して、抗議活動への弾圧を行うことは容認できない。

抗議デモが続く中、2019年11月24日には、香港でもっとも民意が反映しやすいと言われている区議選が行われ、「一国二制度」のもとで政府に批判的な立場の自由と民主主義を守ろうとする民主派が86%の議席を獲得した。これは、中国や香港の政府への反発が明確に現れた結果であり、重く受け止められるべきである。

よって、国会および政府は、人権問題は国際的な問題であることを認識し、下記事項を中国政府へ要求することを強く求める。

記

1. 中国政府は、香港の抗議行動に対する弾圧をただちに中止し、事態を平和的に解決する責任を果たすこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月19日

大阪府南河内郡河南町議会